

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特許公報 (B2)

(11) 特許番号

特許第5717119号
(P5717119)

(45) 発行日 平成27年5月13日 (2015.5.13)

(24) 登録日 平成27年3月27日 (2015.3.27)

(51) Int. Cl.

C 1 2 P 7/56 (2006.01)

F 1

C 1 2 P 7/56

請求項の数 3 (全 12 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2010-104030 (P2010-104030)</p> <p>(22) 出願日 平成22年4月28日 (2010.4.28)</p> <p>(65) 公開番号 特開2011-229476 (P2011-229476A)</p> <p>(43) 公開日 平成23年11月17日 (2011.11.17)</p> <p>審査請求日 平成25年4月24日 (2013.4.24)</p> <p>微生物の受託番号 IPOD FERM P-21943</p>	<p>(73) 特許権者 599035627 学校法人加計学園 岡山県岡山市北区理大町 1-1</p> <p>(74) 代理人 100113181 弁理士 中務 茂樹</p> <p>(72) 発明者 滝澤 昇 岡山県岡山市北区理大町 1-1 岡山理科大学内</p> <p>(72) 発明者 村上 翔 岡山県岡山市北区理大町 1-1 岡山理科大学内</p> <p>審査官 松浦 安紀子</p>
--	---

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 L-乳酸の製造方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

炭素源としてグリセリンを含有する原料を用いてエンテロコッカス フェカリス (*Enterococcus faecalis*) に L-乳酸を生産させるに際し、前記エンテロコッカス フェカリスがエンテロコッカス フェカリス W11 (受託番号 FERM P-21943) であり、生産させる乳酸が L-乳酸のみであり、前記炭素源のうち 50 質量%以上がバイオディーゼル廃液由来のグリセリンであることを特徴とする、L-乳酸の製造方法。

【請求項 2】

原料の NaCl 濃度が 0.1 質量%~飽和濃度である請求項 1 記載の L-乳酸の製造方法。

10

【請求項 3】

原料の pH が 7.5 以上である請求項 1 又は 2 記載の L-乳酸の製造方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、微生物を用いてグリセリンから L-乳酸を製造する方法に関する。

【背景技術】

【0002】

20